



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2000, 74(1): 92-92

ISSUE DATE:

2000-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96795>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成12年4月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第74巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.74 no.1

物性研究

2000 / 4

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 73 (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷料金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax: (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

舞い踊る雪片と交代に時折訪れていた淡い日差しが日毎に存在感を増し、今まさに萌芽のときを迎えんとする蕾の気迫を感じる頃となりました。小誌が諸兄のお手元に届く頃には桜花爛漫の熱狂も通り過ぎおだやかな新緑の頃となっているのでしょうか。

毎度私事ではありますが拙宅の窓の外には桃の鉢植えがあります。華奢ながらも春先には枝いっぱいにあふれんばかりの花を咲かせてくれます。ことが順調に運べば夏には産毛に包まれたやわらかな実を実らせてくれるのですが、自然にまかせて放置すれば自滅への道をたどります。咲かせすぎた花に見合うだけの体力もなくやがて有象無象のごとくついた小さな実がお互いの足を引っ張り合い中途半端で次世代を創ることすらできぬような結末となるのです。たわわな結実を夢想しながら面倒を見ている側としてはそのまま放置するようなことは当然できず、密集した小さな実をポチポチと弾きながら過当競争に陥らぬようにまた逆に選別しすぎて減収とならぬようにとヒヤヒヤしながらながら見守っていくこととなります。

ところで、物理学会の最終日に行われた物理学者の社会的責任シンポジウムというものに参加してきました。シンポジウムの目玉は物理学者から変貌を遂げて政治家となった有馬参議院議員による講演だったのですが、大勢の立ち見客の注目の中歴史的経緯をつなぎながら文部大臣として大学の独立行政法人化を肯定するにいたった経緯を紹介しつつ自己弁護と他者攻撃に終始するような発言には今更ながらあきれものがありました。しかしながらそれは報道などを通して十分予期される人物像であり大きな驚きではありませんでした。むしろ、どのような法律に基づき変革するのかなどという枝葉末節にこだわり発言を続ける者や、とうとうと無関係な内容をしゃべり続けるあたかもしゃべりたいという意欲を残して脳味噌が融けてしまったような人物や、この機会にお上の意向を聞き出そうとするものや、いずれにせよ世間から投げかけられている大疑問「大学の存在意義とは何ぞや」に対して何を答えるべきかということすら理解せぬ大センセイ方のほうが何やら恐ろしいモノに見えました。こんなことではあたかも小さな桃の実のように自滅していく種族として後世に名を馳せるのではないかと危惧します。我々には弾いてくれる飼い主は存在し得ません。自浄することができなければ滅びゆくのみかと。皆様ひとつ襟を正して見ませんか。

(Y. S.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

吉岡 英生 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第1号 (平成12年4月号) 2000年4月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

吉岡 英生 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第1号 (平成12年4月号) 2000年4月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 74-1 (4月号) 目 次

○シリーズ

「物性研究者のための計算手法入門」

・はじめに……………「物性研究」編集委員会…… 1

・Symplectic Integrator による定圧定温の分子動力学法

一長時間の分子動力学法の実行に向けてー……………岡部 恒康…… 2

○研究会報告

「複雑系6」…………… 20

○編集後記…………… 92

物 性 研 究 74-1 (4月号) 目 次

○シリーズ

「物性研究者のための計算手法入門」

・はじめに……………「物性研究」編集委員会…… 1

・ Symplectic Integrator による定圧定温の分子動力学法

一長時間の分子動力学法の実行に向けてー ……………岡部 恒康…… 2

○研究会報告

「複雑系6」…………… 20

○編集後記…………… 92